

米沢市立病院診療材料等の一括購入業務及び物品管理業務（院外型 SPD）

プロポーザル審査委員会設置要領

（目的）

第1条 この要領は、米沢市立病院診療材料等の一括購入業務及び物品管理業務（院外型 SPD）の委託について、公平性及び透明性を確保するため、その業務の履行に最も適した契約の相手方となる候補者（以下「受託候補者」という。）を厳正かつ公正に決定するため、米沢市立病院診療材料等の一括購入業務及び物品管理業務委託（院外型 SPD）プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 委員会は、次に掲げる事項を処置するものとする。

- (1) 企画提案書等の審査評価基準及び審査評価に関すること。
- (2) 受託候補者の決定に関すること。
- (3) その他必要な事項

（組織）

第3条 委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、松本幸夫統括副院長を、委員は次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 神田 美由紀 米沢市立病院 看護部次長
- (2) 中村 由美 米沢市立病院 看護部中央手術室師長
- (3) 和田 晋 米沢市立病院 事務局長
- (4) 鈴木 智子 米沢市立病院 事務局総務課長

（委員長の職務等）

第4条 委員長は、委員会の事務を総理し、委員会を代表する。

2 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長は、その議長となる。

- 2 委員は、やむを得ない理由により会議を欠席する場合には、その所管に属する職員のうちから代理の者を出席させることができるものとし、あらかじめ委員長にその代理の者の氏名等を報告することにより、その代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。
- 3 会議は、委員長及び委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 4 審査委員会の議事は、会議に出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会議は、非公開とする。
- 6 審査委員会における審査の結果は、受託候補者を選定した後に公表する。

(会議の開催の特例)

第 6 条 委員長が会議を開催するいとまがないと認めた場合は、会議の資料を持ち回ることによる委員長及び委員の協議をもって会議の開催に代えることができる。

(意見の聴取等)

第 7 条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見、若しくは説明を聞き、又は委員以外の者に対し資料の提供を求めることができる。

(委員の除斥)

第 8 条 委員は、提案者と利害関係を有する場合は、議事に加わることができない。

(守秘義務)

第 9 条 委員は、審査の過程で知り得た情報を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。ただし、本市が公表した情報又は委員会が公表した情報についてはこの限りではない。

(事務局)

第 10 条 委員会の事務局は、米沢市立病院事務局総務課用度担当とする。

(その他)

第 10 条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定める。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和 6 年 8 月 30 日から施行する。

(この要領の失効)

2 この要領は、第 2 条に規定する委員会の所掌事務が終了したときに、その効力を失う。